

「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」
指標設定及び進捗管理について

「東京都がん対策推進計画」における指標の設定の方向性について

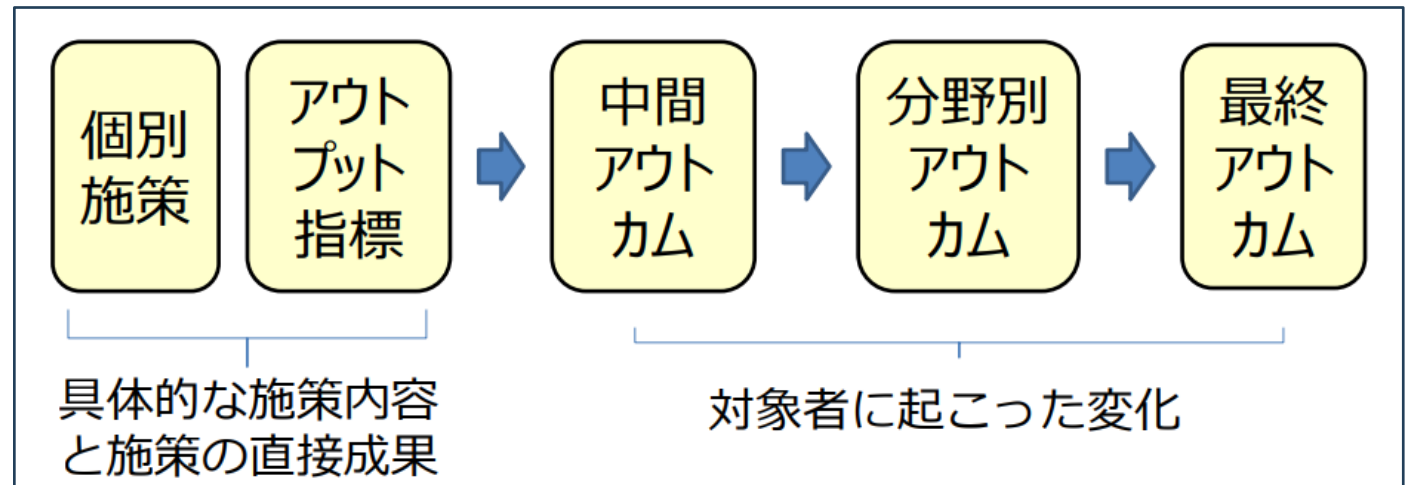
≪指標設定にあたっての基本的な考え方≫

- ・「第4期がん対策推進基本計画」において、都道府県による計画の策定に関して、下記のとおり示されている。
「都道府県は、都道府県計画に基づくがん対策の進捗管理に当たって、PDCAサイクルの実効性確保のため、ロジックモデル等のツールの活用を検討する（後略）」
- ・現在の「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」においては、「重点指標」と「指標」を設定している。
「重点指標」…明確な方向性があり、重点的に進行管理を行うことが望ましいもの
「指標」…重点指標以外の指標。数値管理のみ行うことが適当なもの
- ・この点、計画の進捗管理にあたっては、施策自体の直接的な成果と、それによって生じる効果について関係性を整理した上で、施策が適切であるかを評価することが必要である。
については、次期計画においては、国の考え方に倣い、ロジックモデルの考え方を踏まえた指標設定を行う。

ロジックモデルの構造

（令和4年11月11日

第85回がん対策推進協議会（国）資料2-3より）



「東京都がん対策推進計画」における指標の整理について

《状況》

- ・ 骨子作成に際しては、課題に対する取組の方向性と、その取組効果を確認するための中間アウトカム指標をセットで検討
- ・ 一方、アウトプット指標は、取組の具体的内容やオペレーション（実施手順）が詳細に定まるまで、議論が難しい部分も多い
新たな取組については財源措置も要するが、現時点では次年度予算案について調整中の状況
- ・ 計画において本質的に最も重要な内容は、課題設定と取組の方向性であり、まずはその点の検討の充実を図る必要がある

《指標に関する検討の進め方》

- ・ 計画素案の公表（パブリックコメント）までは、「現状・課題」及び「取組の方向性」等を中心にご議論をいただく
- ・ 併せて、目標（＝アウトカム）設定の適切性についてもご確認をいただく
- ・ 「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」の冊子には、進捗評価の核となるアウトカム指標を掲載する
 - ※ 中間アウトカム、分野別アウトカム、最終アウトカムの3種に分類
 - ※ 現行計画と同様、「分野別施策」の各パートにおいて掲載するとともに、巻末にも一表として掲載

- ・ **アウトプット指標については、計画改定完了及び次年度予算案の議会承認の後、その内容に基づいてご議論をいただく**
アウトプット指標に係るご議論を踏まえ、全体をロジックツリーとして整理し、東京都がんポータルサイト等で公表する

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	→			→			改定完了★	→			
	・ 計画内容の検討 ・ アウトカム指標の検討			パブリックコメント			計画 最終調整	アウトプット指標の検討・ロジックツリー整理			

「東京都がん対策推進計画」の進捗管理について

≪次期計画期間における進捗管理≫

- ・次期計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間
- ・令和8年度に中間評価、令和11年度に最終評価を実施することとする
中間評価、最終評価においては、アウトプット指標も含めて全ての指標を確認する
その上で、中間評価においては、目標に対する施策の適切性や今後に向けた課題点を検証し、必要に応じて見直しを行う
- ・それ以外の年（令和7・9・10年）においては、アウトカム指標と個別施策の実施状況を基に進捗を評価し、東京都がん対策推進協議会において、取組の推進に向けたご助言等をいただく

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
	△進捗評価 (現行計画)	○進捗評価	★中間評価	○進捗評価	○進捗評価	★最終評価
調査等 予定		必要に応じて調査実施を検討(R7orR8) ・患者家族調査 ・都民意識調査 ・医療施設等実態調査			R10に実施(予定) ・患者家族調査 ・都民意識調査 ・医療施設等実態調査	

「△進捗評価」…現行計画について、例年同様、重点指標と個別施策の実施状況等を基に評価（R6のみ）

「○進捗評価」…アウトカム指標と個別施策の実施状況等を基に評価し、取組の推進に向けてご助言等をいただく

「★中間評価」「最終評価」…アウトプット指標も含めた全ての指標を確認し、施策の適切性や今後に向けた課題点を確認する